

職業訓練および実務教育は、労働市場において女性に利益をもたらすが、ほとんどのプログラムの効果は小さい



職業訓練は、雇用、正規雇用、所得、および収入にわずかなプラスの影響を与える。

このレビューの目的は何か？

このキャンベルの系統的レビューでは、低所得国および中所得国の女性を対象とした職業訓練および実務教育の影響を検証している。このレビューは、実験的または擬似実験的デザインによる35の定量的研究からのエビデンスをまとめたものである。このレビューは、80,000人以上の女性のデータを含む30の介入の影響をまとめた。質的なナラティブのメタ統合には、50の研究の結果が含まれている。

職業訓練は、雇用、正規雇用、および収入にわずかにプラスの影響を与える。他のプログラム要素と組み合わせた実務教育は、自営業、販売または収益にプラスの効果をもたらす。

これらの比較的小さな効果は、職業訓練プログラムや実務教育プログラムの規模を拡大することを正当化するのに不十分であるかもしれない。効果を向上させるためにデザインの設定変更を検証する必要がある。

このレビューは何を調査したのか？

世界中の女性は、最低限のスキルしか求められないような仕事に就くことが多く、学習と昇進の機会はほとんどない。政府と開発機関は、職業訓練プログラムや実務教育プログラムを通じて女性のスキルを向上させようとしている。

このレビューは、そのようなプログラムの影響、および職業訓練と実務教育の有効性に対する障壁と促進に関するエビデンスを要約している。

何の調査が含まれていたのか？

含まれている研究は、低所得および中所得国の18歳以上の女性を対象とした職業訓練および実務教育プログラムの影響を測定した実験的および擬似実験的評価である。このレビューには、職業訓練および実務教育の有効性に対する障壁、および促進を調査する質的および混合法の研究も含まれている。

このレビューの主たる結果は何か？

職業訓練にはわずかなプラスの効果がある。雇用と正規雇用はそれぞれ11%と8%増加し、所得は6%増加した。調査結果には多少のばらつきがある。

ジェンダーを重視したプログラムでは、効果が大きくなる。ライフスキルトレーニングやインターンシップを含むプログラムでは、雇用への影響ではなく、所得への影響が大きくなる。雇用の影響は、アフリカとアジアでより大きくなる。効果は、プログラムの開始後12か月よりもプログラムの開始後6か月の方が強くなる。

職業訓練プログラムは一般に、有効性を損なう可能性のある適切な品質管理手順または監視機能を確認することなく外部委託された。

実務教育と金銭授受またはライフスキルトレーニングを組み合わせることで、自営業の可能性が73%増加し、売上または利益が7%増加した。現金譲渡を伴う実務教育は、現金移転を伴わない実務教育と異なる効果はなかった。

